



組織破壊を許さないために、再度、読み合わせよう

東京地方本部発行 真実の声に対する地本見解

注目!

2018年11月に発行された「JR東労組運動と12地本の団結を破壊する「真実の声」を許さないJR東労組東京地方本部執行委員会見解」では以下のように書かれています。

2018年6月10日、「JR東労組を憂う会」の結成主旨の抜粋を掲載し、「真実の声」がインターネット上にアップされた。

「真実の声」では、投稿者が匿名で、様々に虚偽を並べ、JR東労組中央本部を「残留執行部」と語り、JR東労組運動を進める中央本部や地方本部を批判している。

この「真実の声」は、組織を強化・拡大するために、12地本が団結し、信頼を回復しようとするJR東労組運動の破壊が目的だと言われている。同時に、個人を特定しての誹謗中傷は許されるものではない。

東京地方本部執行委員会は、我々が一切関知しない「真実の声」を組織破壊と考え、携わる者の行為は断じて許さないことを明らかにする。

「真実の声」に掲載された内容は、不特定多数が閲覧できるインターネットにおいて、会社幹部と中央執行委員長との会談と思わせるような「7・26会談」など、あたかも組織の一部の者しか知り得ず、万が一外部に漏れては組織の運営に支障を来すような秘匿すべき情報を装い、匿名で掲載している。この行為は組織破壊を目論む者たちに棹さすものであり、中央本部と地方本部の間に不信感をもたらすものである。

付け加えれば、中央本部は「真実の声」の投稿者並びに情報提供者は、制裁申請に値することを明言している。

全組合員に訴える！私たち東京地方本部執行委員会は、これまで通りJR東労組運動を推し進め、12地本の団結をつくり出すために、あらゆる組織破壊・組織分断を許さず、これまで以上に中央本部や他地方本部との相互討論はもちろんのこと、全組合員と議論を重ね、中央本部と共に12地本の団結をもって、JR東労組運動をつくり出す決意である。

2018年11月15日 東日本旅客鉄道労働組合 東京地方本部第6回執行委員会

「真実の声」を運営していた元役員（書記）は、この見解を確認した東京地方本部第6回執行委員会に参加していました。「真実の声」に対する地本見解は全12地本が発行しています。再度見解を読み直し、組織破壊を許さない体制を確立していきましょう！

組織破壊を許さず、地本見解を再度読み合わせしよう